The Article 9 Society Hiroshima

第九条の会ヒロシマ

会報 77 号
2013年4月

名誉代表　岡本三夫　世話人代表　藤井純子
連絡先　〒734-0015　広島市南区宇品御幸1-9-26-413
TEL　070-5052-6580　E-mail　fujii@jca.apc.org（藤井）
FAX　082-283-7789（佐々木孝）
URL　http://9-hiroshima.org/
FB　http://www.facebook.com/9hiroshima
郵便振替　01390-5-53097 第九条の会ヒロシマ　年会費2,000円

ストップ改憲　新聞意見広告 2013にご参加ください！

～あなたは平和のスポンサー　主権者一人一人の意志意志表明　お名前を新聞に掲載します

6 月 29 日意見広告紙面案

意見広告 今年は 2 回 掲 載

今、衆議院の９割の議員が改憲派。憲法審査会で自衛隊を国防軍に、集団的自衛権行使を認めるなど平然と議論されていますが、それは「戦争」をする国になるということ。そんな国にしたくない、議員は９条を守れと思う人は多いはずです。

参議院を改憲賛成派多数にしてはなりません。そのため、選挙前に「憲法を守り、活かす議員を選ぼう」という意見広告を新聞に掲載します。グループや個人でご参加ください。
どうぞよろしくお願い致します。

8 月 6 日意見広告紙面案

憲法をまもり、活かす議員を選ぼう

掲載紙

- **中国新聞朝刊15段**
  賛同金不足で8.6は5段になる場合もありますのでご協力よろしくお願いします。
- **東京新聞夕刊5段**

掲載日

2013年 **6月29日**（土）＆**8月6日**（火）
5月末までに振り込んでくださった方のお名前は2回掲載できます。以降は8.6 1回になりますのでお早めにお願い致します。

みんなで作る意見広告　メッセージ募集中

メッセージ 30 字以内
振替用紙のメッセージ欄や FAX 等でお寄せ下さい。

主催：第九条の会ヒロシマ
共催：広島県９条の会ネットワーク

96条明文改定、集団的自衛権行使を可能にする「国家安全保障基本法」制定 断固反対 ！

5月3日（火）10:30～12:30 原爆ドーム前

憲法リレートーク ＆ 市民シール投票

5月3日憲法記念日にリレートークを行い、ストップ改憲、核のない平和な社会をめざすヒロシマの想いを訴えます。平和公園付近でフラワーフェスティバルを楽しむ人々もきっと「日本が軍隊を持って戦争をする」ことに反対の人が多いはず。軍備よりは対話。言葉や信頼の大切さは憲法に詰め込まれています。憲法を変えるのか、変えないのか迷っている人がいたら語りかけましょう。多くの人が改憲反対の意志表示をするよう、応援に駆け付けてください。

憲法を変える？　変えない？

市民シール投票にご参加ください

会報77号　目　次

1	6月と8・6新聞意見広告２回掲載のおしらせ
2	2013年の第九条の会ヒロシマ活動宣言
3	米軍の占領を脱し主権回復を　オスプレイ訓練は違法　（沢田正）
4～5	第16回許すな！憲法改悪・市民運動全国交流集会in大阪を終えて（松岡幹男）
5～7	「おお友よ、この声ではない」金泳鎬さん講演の報告　（上山耕平）
8	総会記念学習会　金栄鎬（キム・ヨンホ）さんのお話し（佐々木孝）
9	呼びかけ人からのメッセージ　（筆録；島村眞知子）
10～11	マイノリティーや民衆の歴史を軽視する育鵬社　（内海隆男さん）
12	上関原発建設予定地の埋め立て問題－推進の動き再浮上（渡田正弘さん）
13	尾道で、3.11避難移住者・保養者を支える　（信恵勝彦）
14～15	総会2012年度報告　（藤井純子・佐々木孝）
16～	イラク10　戦争を検証する　（藤井純子）
17	呼びかけ「保養に支援を！」　（平木薫）
18	お知らせ、後記

2013 年の第九条の会ヒロシマ活動宣言

第九条の会ヒロシマは毎年、春分の日に総会を開きますが、今年も 3 月 20 日、広島ＹＷＣＡで 2013 総会を行いました。最右派と言われる安倍政権が登場し、改憲反対が少ない衆参両議院の憲法審査会が既に始まった中でも断固、改憲反対を貫くことが大変な年になりました。沖縄の辺野古埋め立て申請、国家安全保障基本法、TPP, 経済再生、教育再生という名の反動化、共通番号制、原発再稼動、…　危険な安倍政権がいよいよ「牙」を剥いて私たちの人権、主権をうばおうとしています。しかし総会では、会場いっぱいの会員さんや新しく会員になってくださった方々の参加を得ることができて元気に力強く出発することができました。岡本三夫名誉代表の設立宣言を読み返し、平和憲法を実現することこそ大切な時だと胸に刻んで、これまで以上に「反改憲」「憲法実現」の活動していこうと思いを新たにしています。

私たちはまず今年は、参議院選前の 6 月 29 日と 8 月 6 日の新聞意見広告、2 回の掲載に挑みます。無謀と言われるかもしれませんが、改憲派の圧倒的な力に立ち向かうには、私たち小さな市民の繋がり、広がり、世論の高まりが必要です。小さな賛同者の名前が紙面にぎっしりと並び、見知らぬ購読者にこう呼びかけるのです。「平和憲法は大切だよ、憲法を変えるというような人にはあなたの一票は入れないで、私たち主権者は、憲法をまもり活かす人を選びましょう」と。そして 8・6 新聞意見広告では「核のない世界をめざし、すべての原発を一刻も早く廃炉にしよう」と。新しく議員になった人には「憲法をまもり実現するべし」と強く訴えます。皆さんのご協力がどうしても必要です。

5 月 3 日の憲法記念日には、原爆ドーム前で憲法リレートークを行い、広島のお祭り、フラワーフェスティバルを楽しむ人達に直接、私たちの命を守り、平和に生きる権利を保障する憲法の大切さを訴えます。そして市民の皆さんに参加してもらう「憲法を変える？　変えない？」シール投票を行います。自分で考え、自分で決めて投票をしてもらうのです。

また、広島県 9 条の会ネットワークは、40 万枚のジャンボチラシを県内の各戸に配布しようと張り切って準備が進めています。本当の民主主義を実現するためにはつながり、連携して行動あるのみ。今こそ！市民の出番ではないでしょうか。（藤井純子）

2013 年の活動

①活動方針

1、一人でも多くの市民に、憲法の 3 原則、人権・民主主義・9 条の大切さを知ってもらうよう活動する。

2、憲法を破壊するいかなる改憲（明文、立法、解釈改憲）にも反対の意思表示を行う。

3、人権を確立する様々な課題を共有し、政治的、思想的立場にこだわらず、幅広い協力・結集を目指す。

設立宣言

日本国憲法第九条は、国の焦土化と広島・長崎の原爆被災という未曾有の犠牲によってあがないとられた国民的遺産です。それは過去の戦争に対する厳しい反省の上に立った先見的思想であり、21 世紀のモデルとなりうるものとして国際的にも高い評価を獲得しつつあります。私たちは、日本の侵略戦争によって多大の被害を与えたアジア諸国民への謝罪もこめて、平和、人権、民主主義を根幹とする憲法を護り抜き、絶対不戦を決意し、ここに「第九条の会ヒロシマ」を結成します。（岡本三夫）

1992 年 2 月 22 日

②活動計画 2013

1、改憲ストップの世論作りのために 6 月 29 日と 8 月 6 日、2 回の新聞意見広告に取り組む。

2、5.3 憲法記念日リレートーク、市民投票、街頭宣伝など様々な方法で平和憲法の大切さを市民に直接訴える。

3、集団的自衛権行使の容認につながる「国家安全保障基本法」による立法改憲、96 条明文改憲の動きを注視し、改憲を阻むため全国的、地域的な連携を強める。（広島県 9 条の会ネットワーク、許すな！憲法改悪市民連絡会、九条の会ほか）

4、核兵器廃絶、脱原発、基地、戦後補償問題などの取り組みに積極的に連携する。（上関原発止めよう！広島ネットワーク、ピースリンク広島・呉・岩国、教科書採択ネット、慰安婦ネットひろしまほか）

5、会報の発行　　4 回予定

主な活動予定

3 月 20 日　総会　学習会（講師：金栄鎬さん）
5 月 3 日　　5・3 憲法記念日リレートーク
6 月 29 日　参議院選挙前の新聞意見広告掲載
8 月　6 日　8・6 新聞意見広告（掲載、配布）
11 月 3 日　11・3 憲法のつどい（広島県 9 条の会ネットワーク）
2 月　　許すな！憲法改悪・市民運動全国交流集会

③会の運営

・世話人会　原則月 1 回　必要に応じて随時　事務局会、作業
・2013 年世話人（敬称略）

名誉代表：岡本三夫　世話人代表：藤井純子◎　（事務局は◎）
世話人：　石口俊一、上羽場隆弘（尾三地区）、上山耕平◎
岡本珠代◎、木原省治、栗原君子、後藤正史、
佐々木孝◎、島村眞知子◎、実国義範（県北）、
利元克巳、土井桂子、西浦紘子◎、宮地靖子、
盛谷祐三、横原由紀夫、
＊石岡真由海（新聞意見広告担当）
会計監査：河野布美子　浜根和子

米軍の占領を脱し主権回復を

オスプレイの飛行訓練は違法

沢田　正（ジャーナリスト）

３月に入って米軍の垂直離着陸輸送機オスプレイの本土での訓練が始まった。本土初訓練となった６日からの飛行について米軍は防衛省に訓練コースと日程を４日に通告してきたが、５日になって訓練コースを九州のイエロールートから四国のオレンジルートへ変更。事前通告の意味をなさなかった。そして 19 日からの２回目の訓練では岩国基地への飛行計画を当日の午前に通告してきただけでコース、日程の通告はなく、本土でも傍若無人ぶりをあらわにした。

これに対し「本県上空も訓練ルートに設定されており、安全性に疑問のある機体が野放図に飛び交う事態を認めるわけにはいかない」（３月 23 日付福島民報論説）など訓練コース下の住民の不安の声は高まっており、全国知事会の山田啓二会長（京都府知事）も 21 日、安倍晋三首相にオスプレイの低空飛行訓練に関して自治体への十分な情報提供と説明を要請した。安倍首相は「情報提供を要請している」と答えただけで、国民の安全を本気で考えているとは思えない。

米軍機が日本の領空で軍事訓練を行う場合、日米地位協定に定める日米合同委員会の協議と日米両政府の合意によって日本が訓練空域を提供することになっているが、本土上空で米軍機が訓練する取り決めはなく、今回、オスプレイが低空飛行訓練をすると米軍が公表した全国の６ルートやエリア 567 と呼ばれる訓練空域については日米合同委員会で提供を合意したものではない。そもそも訓練自体が日米地位協定違反である。

オスプレイについていえばオートローテーション機能がないため日本の航空法では耐空証明がとれない、つまり民間輸送機なら飛行できないしろものだ。米国では安全性や環境への影響の懸念からオスプレイの訓練や配備が撤回されたり中止されたりしている。ハワイ・オアフ島のカネオベイ基地では住民の異議で訓練が撤回され、モリカイ島では文化財の損傷を避けるため配備計画が見直された。米本土のニューメキシコ州では住民の不安を反映して訓練が一時停止された。

民間機なら飛んではいけないオスプレイが、訓練空域として提供されていない日本の空を飛ぶということが、なぜまかり通るのか。日米安保条約と地位協定で日本は米軍が希望すればどこでも基地がおける「全土基地方式」をとっており、基地には日本の主権は及ばない。現在日本には全国 29 都道県に 133 カ所の米軍基地がある（2010 年１月１日）。それだけでなく、空にも米軍の専用空域があり、東京、神奈川、埼玉、群馬など１都８県にまたがる横田エリアとよばれる空域には民間機は米軍の許可がなければ入ることはできない。首都の上空を外国軍隊が専有しているのは世界で日本だけだ。沖縄には嘉手納ラプコンという米軍専用空域があり、中国地方では岩国基地を中心とする島根、山口、愛媛の３県にまたがる空域が岩国基地の管制エリアとなっている。海にしても横須賀基地はアメリカが海外に持つ唯一の空母の母港だ。横須賀を母港とする米原子力空母ジョージワシントンは電気出力で計 40 万㌔㍗級の原子炉を積んでおり、停泊中は東京から 40 ～ 50 ㌔に原発があることになるが、日本の規制は全く及ばない。米軍は日本の陸海空を好きなように使っている。

司法権についても米軍は治外法権下にある。米軍兵士や軍属の公務中の犯罪についての裁判権が米側にあるだけでなく、公務外の犯罪についても 1953 年に「日本にとって著しく重大なもの以外について日本は裁判権を放棄する」との密約が交わされ、現在も生きている。日米安保条約と地位協定によって米軍は日本のどこにあっても日本国憲法下にない。日本はいまだに米軍の占領下にあることが、日本で米軍の無法がまかり通る理由だ。

３月 22 日、安倍政権は沖縄の普天間基地の移設先と想定している名護市辺野古の埋め立て承認申請書を沖縄県に提出した。1 月 28 日に沖縄の全 41 市町村が議会と連名で普天間基地の閉鎖・撤去と県外移設を求める建白書を首相に提出したことに対する回答がこれである。

その安倍政権が、サンフランシスコ講和条約の発効で「日本の主権が回復した日」に当たるとして４月 28 日に政府主催の式典を開くことを閣議決定した。全土を外国の軍隊に好きなように使われ、治外法権も認め、いまだに占領下にある状態を変える努力をするどころか、アメリカの言いなりになって沖縄の民意を圧殺する政府に主権の回復を口にする資格はない。今政府がやるべきことは普天間基地の閉鎖・撤去とオスプレイの配備の撤回、低空飛行訓練の中止をアメリカに求めることを第１歩として、主権の回復に取り組むことだろう。

幕末に欧米列強から不平等条約を押し付けられて開国した日本は治外法権の撤廃と関税自主権の回復に苦しんだ。明治政府が治外法権の撤廃に成功したのは 1854 年に日米和親条約で開国してから 40 年後の 1894 年、そして関税自主権を回復したのは 57 年後の 1911 年のことである。1952 年のサンフランシスコ講和条約で本土が「独立」してから 61 年、沖縄の本土復帰から 41 年になろうとする今も米軍の占領下にある現実をどうみるか。今、日本が目指さなければならないのは、自民党などが唱える国防軍の創設ではなく、日米安保条約を破棄して日本国憲法が名実ともに最高法規となる「主権の回復」であろう。

第 16 回許すな！憲法改悪・市民運動全国交流集会 in 大阪を終えて

松岡幹雄（とめよう改憲！おおさかネットワーク）

松岡幹男さん

2 月 16~17 日の両日大阪 PLP 会館で開催した第 16 回許すな！憲法改悪・市民運動全国交流集会は、地元大阪をはじめ全国から沢山の皆さんに参加頂き成功裡に終わりました。地元事務局としては何よりも大事な交流集会が無事終えられたことを喜んでいます。あらためて紙面をお借りし皆さまにお礼申し上げます。しかし、改憲状況は安倍内閣への支持率のアップなど危機的様相をさらに強めています。集会を終え若干の感想とともにこれからの運動を私なりに展望してみたいと思います。

中北龍太郎弁護士

安倍内閣の再登場への危機感

短期間にもかかわらず多数の皆さんに参加頂きました。春闘の忙しい合間を縫って労働組合関係者も多数参加されました。やはりこれまでとは少し違う雰囲気を感じました。憲法改悪を正面から掲げる安倍内閣の再登場に人びとの間に危機感が広がっていることを感じます。ストップ・ザ・もんじゅの池島芙紀子さんや西成子どもの里の荘保共子さんからも憲法や平和の大切さが切々と語られました。運動の分野は違っても憲法や平和の課題ではつながっているんだということを実感できた集会でもありました。

集会では、3 名の講師からそれぞれ貴重な問題提起がされました。

高田健さん

高田健さんは、「領土問題をめぐって対立と緊張が増している中で『領土問題の悪循環をとめよう “市民アピール”』は短期間に千数百人の賛同を得た。韓国や台湾、中国で市民の反響が起こりこれに呼応してくれた。記者会見には韓国・中国・対話のメディアが沢山来てくれたが日本のメディアは沖縄タイムスと週間金曜日だけであった。しかし、市民同士が呼応して立ち上がろうという空気ができつつある。インターナショナルな運動をつくっていこう。」と領土ナショナリズムを乗り越えるアジアの民衆連帯という課題を提起されました。

韓国からのゲストの金泳鎬先生は、「ＥＵが可能になったのはドイツがナチズムを精算できたから。メルケル首相は、ナチズムの責任はヒットラーだけでなくドイツの市民・知識人にもあると言った。日本が侵略の歴史を精算していないことが現在の東アジアの緊張の原因です。」と語られました。侵略の歴史を精算しアジアの人びととの和解の出発点が日本国憲法。日本の市民はそれを手放してはならないという強いメッセージでした。

普門大輔弁護士

大阪で生活保護申請支援活動などに取り組まれている**普門大輔弁護士**は、政府自民党は、今後 3 年間で 670 億円の予算を削減し生活保護切り下げをしようとしているがその影響は大きい。最低賃金と連動するし就学援助の打ち切り、住民税の非課税限度額の引き下げ等々低所得層の暮らしを直撃することになる。憲法 25 条改悪の先取りが進んでいることを強く批判されました。

大阪集会のもう一つのテーマ「橋下改革」を問う

安倍首相は、2 月 15 日自民党憲法改正推進本部の会合で「自民党には結党以来二つの宿題があった。ひとつは食べるということでありこれは解決できた。残る宿題は憲法改正だ」と語っています。ほんとうに食べていくということが解決できたのか。解決どころか事態は悪化の一途をたどっているのが現実です。安倍さんは、憲法改正のことで頭がいっぱいで庶民の生活は見えていません。生活保護受給世帯の増加には受給水準を引き下げて対応することぐらいしか考えていません。橋下市長にいたってはさらにその上をいっています。「最低賃金制度の解体」（日本維新の会の当初の選挙公約）と生活保護制度そのものの見直しを公言しています。2012 年 4 月現在で大阪市は、生活保護受給者 152,428 人（118,092 世帯）となり市民の 17.5 人に一人が保護利用者という全国で一番の自治体となっています。高齢世帯が多いこと低所得者層が多いこと、そして失業率が高いこと等が理由です。中でも西成区は生活保護率が全国一位です。橋下市長は、「西成特区構想」には、「金をかけて特別扱いする」と言っています。しかし、その一方では、「西成を特別扱いしない」などと言って今回訪問した西成子どもの里事業の廃止を決め、さらに「今の生活保護制度の欠陥は、受給権者が節約する動機付けがないこと。生活扶助費も医療費も生活保護費としてワンバスケットにすべきです。」などと言い生活保護医療費のカットを始めようとしています。平成 25 年度からの「西成特区構想」でも人目を引く思いつきの施策が並ぶ反面、住民の要求を無視し大阪市立住吉市民病院の統廃合や津守幼稚園を廃止しようとしています。言っていること、やっていることが無茶苦茶です。今回集会で生活保護問題を取り上げられたことで日本社会全体の貧困問題や橋下改革の実際にふれることができたかと思います。

これからの憲法運動の必要な課題を考える

もう一度「九条の会」の運動を地域から巻きおこす時が来ていると思います。現在の自民党は専守防衛を基本とするかつての保守政党としての自民党ではありません。右翼政党といっても過言ではありません。保守層とも九条を守ることを一致点に広がった九条の会は、原点に立ち返りかつての自民党支持層とさらに結びつく必要があると思います。大阪では、5 月 17 日に作家の赤川次郎さんをまねき中之島中央公会堂で九条の会・大阪が主催し講演会を開催します。また、大阪府下の地域九条の会でも改憲問題の学習会が始まっています。とくに、公明党支持層にも積極的に参加を呼びかけていくつもりでいます。

特に考えたいのが若い世代とのつながりをどうつくるかということです。憲法の集会はどこへ行ってもお年寄りばかりだという声をよく聞きますし、実際そうかもしれません。しかし、私はあまり悲観的には思っていません。もちろん、表現内容や表現方法には細心の注意をはらいつつも、大事なことは私たちの姿勢の問題ではないでしょうか。全国交流集会 2 日目の討論で日本消費者連盟の富山さんは「果たして表現の問題だろうか。若い世代に全身でぶつかり生き方をしめそう」と語られました。熱い思いが伝わりました。大阪では、10 月 14 日大阪府立体育館（12,000 名）で 9 条世界会議ＩＮ大阪を開催します。脱原発や反貧困、労組青年部など若い世代が参加できる企画を検討しています。もちろん、東アジアからもゲストを招き領土ナショナリズムを超える市民の連帯を築くことが大きなテーマです。

最後は、労働組合と市民運動はもっと結びつくことが必要ではないかということを思います。これはどちらの側からも言えることです。今、日本最大のナショナルセンターである「連合」が憲法問題をめぐって揺れています。秋の連合大会では、憲法論議凍結を解除し、「連合は、憲法改正に反対しない」方針を決めていくと報じられています。連合は、いま政権政党である自民党に急速に接近しています。秋の大会までに連合の各地方組織へ市民団体として意見を表明したり申し入れを行っていく必要を感じます。「とめよう改憲！おおさかネットワーク」でも具体化を検討していく予定です。今年の 5.3 憲法集会は、大阪府下の憲法団体が協力してとりくみます。大阪では初めての実質的に超党派の集会となります。憲法運動もいよいよ正念場を迎えています。考えるより先に行動というのが大阪の特性かもしれません。とにかく、やれることはすべてやるスタンスでとりくみます。皆さん、また来年の全国交流集会で元気に報告交流ができますよう頑張りましょう。

おお友よ、この声ではない

金永鎬（キム・ヨンホ）檀国大学硯座教授、金大中政権産業資源相

上山耕平

ベートーベンの 9 番に「おお友よ、この声ではない（O Freunde, nicht diese Töne!）」という歌詞があります。民族主義的な、軍国主義的な声ではない。フリードリッヒ・フォン・シラーの、世界の人類が我々の兄弟だという歓喜の唱歌を歌詞にするとき、ベートーベンが自ら書いた言葉です。ヘルマン・ヘッセが、ドイツのナチズムが登場したときに、「この声ではない」というエッセイを書いて、ドイツから追放されました。シラー、ベートーベン、ヘッセの流れに立って申し上げたい。

井戸の中の鯨

私は朝日新聞に、日本は「井戸の中の鯨」と書きました。「井戸の中の蛙」と言いますが、日本は決して蛙ではない、世界の大きな鯨です。ただ、日本の発想の枠組み、または内なる国際化という面では、井戸の域を超えていない。その意味で「井戸の中の鯨」ではないかと思います。

世界での日本の存在感は非常に大きいです。ただ、私は日本に来るたびに、日本の新聞を見るたびに、日本はまだ井戸の域を超えてないような気がします。日本の経済、ソニー、Panasonic、世界一の

金永鎬（キム・ヨンホ）さん

企業がどうして競争力が低くなったのか。日本の国内市場に合わせて経営戦略を立てるから、結果的には国際競争力は低くなった。三星やデウは、韓国の国内市場が小さいですから、世界市場を目標にして、戦略を立てるから競争力が高くなったという、私も同感です。日本は国内市場が大きいので、これを見て経済戦略を立てるから、井戸の中の鯨が、どんどん競争力が低くなったのではないでしょうか。

私がハーバード大学に行って驚くのは、日本の学生が非常に少ないことです。韓国の学生の 1/8 だと聞きました。中国で日本人が 8 万人ぐらい、韓国人が 80 万ぐらいです。日本人は韓国人より人口が多いのに、世界の大学で日本人が非常に少ない。国内大学ばかりを見て、「井戸の中の鯨」になっている。その鯨は、井戸の中でどんどん体が小さくなる。「海の中の鯨」でなければならない。日本で今最も重要なのは、「井戸の中の鯨」を「海の中の鯨」に解放することです。

東アジア情勢

冷戦が終わったら黄金の時代が来るという期待があったのですが、冷戦が終わって 20 年、今の東アジアは、道に迷っているように思います。私は、パブロ・ネルーダさんの「飛ばないと道に迷う」という詩が大好きです。飛ぶことができず道に迷っているのが、今の東アジアの状況ではなかろうか、道が失われた 20 年ではなかろうか。日本で安倍さん、韓国で朴さん、北朝鮮で金某、それから中国で習近平さん、４つの最高権力の関係が本当に怖いです。NewYork Times で、この４人の歴史的恨みと戦いが、東アジアの危険性、非常に危険になるだろうと特集が出ました。東アジアは今、非常に危険な状態です。

東アジアとは何でしょうか？東アジアは、日本の侵略があったところだと私は思います。その侵略に対して、日本は歴史清算をしなかった。歴史和解ができなかった地域です。ヨーロッパで今、EU が可能になった一番の理由はドイツがナチズムの歴史を解決したことです。ドイツのメルケル首相が、「我々は、ナチズムの責任から永遠に逃れることはできない。ナチズムの問題はヒトラーだけの責任であろうか。ヒトラーにすべての責任を押し付けて、我々に責任はないのか。この責任は、ドイツの市民と知識人の責任であろう」という講演をされました。これは安倍さんとは正反対でドイツが歴史の清算をしたことが、ヨーロッパの和解につながって、それが今の EU になった。東アジアの危険な状態が今まで続く一番大きな理由は、日本は歴史を清算しなかったことだと私は思います。

私は日本に非常にお世話になりました。日本で博士号を取り、日本の国公立大学で正式な教授は、私が第一号だった。本当に立派な友人もたくさんいます。それで何か恩返しをしようと思って活動をすれば、日本の新聞で反日家という記事が出る。私は本当の意味で親日家です。親日派ではなく、親日家です。日本は過去の歴史を清算する力があると私は思います。慰安婦の問題を解決しないのは、日本の指導者の罪だと思います。「強制性はなかった」では、通じない。ニューヨークの上院で、慰安婦の問題に対する決議案が通りました。これは日本の右翼が手紙をいっぱい送り、それに反発するために、満場一致で通過されました。日本は解決する力がずいぶんあるのにそれを隠して、このような結果になったのだから、一般の日本市民が大きな損害を被る悪循環を、止めなければいけないと思います。

東アジアの最高指導者を巡る、恨みの悪循環。韓国人と中国人の恨みは、非常に深いものです。しかし、それは簡単に解決できると思います。韓国も中国も、そこから解放したいという気持ちでいっぱいです。それを全部清算して、「海の中の鯨」になってほしいんです。日本の市民は、日本の知識人は、私の日本の友人は、そういう力と自覚があると思います。どうしてそれができなかったのか、私は不思議に思います。その恨みによって、民族主義の悪循環に入って、軍拡の悪循環に入る。中国が軍備を拡大したから、日本もしなければならない。あちらで核を開発するから、日本もしなければならない、憲法九条を変えなければならない。軍拡の悪循環、そうすれば税金を取るしかない、生活水準は低くなる、平和は後退せざるを得ない。中国のこれからの軍拡、覇権主義を止めるには、昔の日本の覇権主義の伝統・陰を、解消することが一番だと思います。信頼の好循環を拡大すべきであり、その主人公は市民です。

Voice democracy

安倍さんを中心とした保守派は、慰安婦の強制性はなかった、歴史を清算することは何もない、憲法九条はもう変えるべきだ、普通の国になりたい。この声ではないと思います。原子力反対のデモが東京で 10 万人以上が集まったという韓国の新聞をテレビで見て、次の日に私が東京に来て、日本でも市民革命が行われるだろうと思っていました。日本の市民運動は主に、生活の問題、生活の改善を中心にして、政治権力の問題には割りと比重が低いような気がします。韓国とは正反対です、韓国では市民運動が市民革命になって、それで政権が変わった。市民運動によって政権が変わったのは、アジアでは韓国しかない。日本で、10 万人、15 万人が集まった市民の集会が、政権にとって大きな危機になると思ったのに、いざ東京に来てみれば、そうではなかった。新聞の記事も、韓国の新聞の 1/10 にもなってない。我々がいろんな運動をしたんですが、日本の新聞には記事になったのはほとんどありません。日本の大きな新聞は何の声を代弁する新聞でしょうか？

私は、数年前に東京のホテルで開かれた憲法九条の会に参加しました。その時、1000 名前後の人が集まり、「これなら憲法改正はありえない」、この集会の記事は明日の新聞の一面トップになるだろうと思い、その次の朝早く起きて新聞の一面を見たら、記事はありませんでした。三面の社会面で一番小さい記事が出ていました。何の声を代弁する新聞であろうか。私は朝日新聞に勤務しました。

朝日新聞の 21 世紀委員会の委員も務めました。そのお陰で朝日新聞が私の机に毎日来るんです。それを読むときに私が思うのは、竹島の問題など、こういう記事になれば日本の読者は「韓国人はけしからん」、そう反応するしかない。どうして真実を報道してくれないのか？日本の新聞は本当におかしいと私は思います。

皆さんご存知のように、voting、投票が重要です。選挙の時の投票は、次の選挙までの間がかなり長くなることがありますし、この間にいろんなことが起きる。だから投票で、自分の意思を表すことには限界がある。また投票は、新聞の記事を見て、いろんな voice を聞いて、それで投票を決める。だから選挙の投票より、もっと重要なのは voice、声です。市民の声が大きく報道される、そういう仕組みでなければならない。だから今の democracy は、voting democracy ではなくて、voice democracy という人もいます。voice の内容は重要ではありません。その voice の聞ける仕組みを作るのが、非常に重要です。市民の voice がそのまま伝わるマスコミでなければならない。アメリカの新聞・マスコミより、日本のマスコミははるかに、一般市民の voice を反映していないと思います。

平和国家と憲法九条

日本の道路を歩くと、右翼のマイクでの大きな声ばかり、この声ではないんです。憲法九条、私は世界の宝だと思います。世界のすべてが、日本の憲法九条のような平和国家を目指す、日本について来るように、世界のモデルにしなければならない。これは、普通以下のモデルではなくて、普通以上のモデルです。普通以上のモデルを、普通国家にするのは、名誉ではないと私は思います。

世界でアメリカやイギリスやフランスの軍事産業が繁栄する理由は、中東問題もありますが、東アジアの緊張によって、中国が軍備拡大する、日本が軍備拡大する、北朝鮮がする、韓国がする、台湾がする、こういう悪循環が、東アジアを世界最大の武器市場にしているからです。この中で、日本が「いや、軍拡ではなくて、平和国家の方向に行きましょう、日本と韓国で行きましょう」と言い、これに中国と北朝鮮がついて来るように、アメリカも同じ方向で来るようにしなければなりません。日本は非核国です、韓国も非核、モンゴルも非核。これで手を携えて、東アジアの非核地帯化を目指す。アフリカも、ヨーロッパも、東南アジアも非核地帯化されて、次は東アジアの非核地帯化です。日本がそこで先頭に立てば、アメリカの政府もついて来る。そういう方向に行けば日本は、世界の平和で先頭に立つ国になります。どうして軍拡や核開発、憲法九条を改正する方向に行くのか。それは市民の声ではない。この地域の緊張が高まれば、ナショナリズムの悪循環が高まれば、最高権力者の国内での立場はどんどん強固になります。これは誰のための構造でしょう。

領土問題

私は、日本と韓国の間に領土問題はないと思います。歴史問題があります。竹島の問題は領土問題ではないと、韓国人は思っています。野田総理が昨年 8 月下旬に、竹島が日本の領土である 3 つの理由を挙げました。1 つは 17 世紀に日本は領土権を確立した、2 つは 1905 年に国際法に従って日本に編入した、3 つはサンフランシスコ講和条約によって日本のものにした。このように首相が日本の国民に話してもいいのでしょうか。たとえば日本で竹島の本当の専門家は、5、6 人しかいない。韓国でも 5、6 人しかいない。研究のほとんどは、勝手に書いたコラムです。日本の大学教授で、歴史の専門家として本当に論文らしい論文を書いた方は、神奈川大学の梶村秀樹、島根大学の内藤正中、京都大学の堀和生、名古屋大学の池内敏。この方々の論文で、日本と竹島は関係ないとされています。歴史家ではなくて法律家の中で、竹島は日本のものだという論文はあるのですが、梶村秀樹が「竹島は日本とは全然関係ない島だ」と書いている。それで彼の論文の一番最後に、自分の住所と電話番号が書かれていて、「疑問があったらここに電話して下さい」と添えられていた。梶村さんが亡くなった時に、韓国の新聞に私が追悼文を書きました。「日本の名誉のために、学問の真実のために、先生がこういう論文を書いたので、もし韓国の史料を見て、この島は日本の島だと思わせる史料が出てくれば、私は必ずこの島は韓国とは関係ないと書きます。」と誓った追悼文を書きました。

北海道で社会科の先生の組合が、竹島は日本と関係ない島だという声明を 2008 年に出しました。2011 年に東京の社会科の先生の組合が、竹島は日本と関係ない島だと発表しました。去年（2012 年）の末は東京の市民の 2000 名が、竹島は日本と関係ない島だという声明を出しました。

紛争の島から協力の島に

日ロの北方四島、日韓の竹島、日中の尖閣諸島、この紛争の種になっている島が、これから東アジア共同体の協力の種になる方向しかないと、私は思います。アルザス・ロレーヌ地方で、鉄鋼と石炭をヨーロッパが共有することによって、EU が可能になった。今の紛争の島を、この地域の協力の助けにする、協力の島にしなければならない。日本と韓国と中国と台湾と、この東アジアの市民はそういう力が、私はあると思います。そういう力を発揮するのが、今の時代で何よりも期待する新しいリーダーシップだと思います。昨年の末に日本で日本市民のアピールが出た時に、私は韓国で相談して 500 人以上の知識人が、それを応援する声明に署名をした。同時に中国も 2 つのグループがこれを支持する声明を出して、もちろん台湾もそうです。そういう市民のアピールに対する、向こうの市民がそのまま支持する、こういうモデルが確立されつつある。もっと大きくしなければならない。アジア市民の連帯、この市民の声を、この声を引き出す。こういう協奏曲を、ベートーベンの 9 番、を練習しなければならない。その主人公は政治家ではなくて、一般市民だと思います。

写真提供　内海隆男さん

武力解決では生存できない

北朝鮮のミサイル・核実験と日・米・韓の北朝鮮政策

（第九条の会ヒロシマ総会記念学習会　キム・ヨンホさんの講演から）

金栄鎬（キム・ヨンホ）さん

東北アジアの状況を見ていくと、日本の改憲と集団的自衛権の問題、領土問題、歴史問題をめぐる摩擦ということがあるんですが、他方、北朝鮮がこの間に、ミサイル、ロケット実験をやり、2 月に 3 回目の核実験をやるということで、軍事的な動向にも大変不安定が増しています。これに対する韓国側の受け止め方、動向を紹介します。

やっぱり対話が

先月 2 月 25 日に、韓国にパククネさんという大統領が就任されました。女性大統領ではありますが、女性だからということで大統領になったかというと違います。女性の支持がとりわけ目立つわけでもないですし、また女性政策でなにか期待されてるからというわけではありません。保守なんですね。興味深いのが、日本での安倍政権という保守、韓国も保守政権、2 期続くことになるわけですが、同じ保守でも、北朝鮮は核やミサイルの脅威があるとして、韓国の方がより近いわけです。さらに日本でも拉致問題という深刻な問題がありますが（韓国では「拉北者問題」という）、拉北者問題というのはもっと数が多くて、歴史も長い。そのことを多くの国民が知っている。日韓両方が保守政権で、北朝鮮がミサイル、ロケットと、核実験を行った。これに対して安倍政権にとっては追い風だったと思う。ところが同じ保守政権の韓国の政府は、大統領も北朝鮮政策の関連部署の偉い人も就任演説を見ますと、「朝鮮半島信頼プロセス」というものを進めると。当面少し難しいかもしれませんが、これは今のところまだ維持されている。つまり前の大統領の時期 5 年間で、北朝鮮政策は何もよくならなかった。むしろ悪くなった、その前に、キムデジュンさん、ノムヒョンさんが 1998 年から 2003 年はじめまで 10 年間、太陽政策ということで和解協力政策をやってきたわけです。あのことを猛烈に非難して、前のイミョンバク大統領、保守政権が復活したわけですが、その間にどうなったかというと、もっとひどくなった。６者協議はまったく開かれない、核実験、ミサイル実験は止められない。体制が新しくなったのに、南北経済協力が広がらない。おそらくそういうことの教訓から、やはり対話が必要だという風に保守政党や保守政権の中にも反省が出てきた。核実験後も国防部あたりは、かなり強硬なことを言ったり、いま米韓で軍事演習をやって、北朝鮮が感じる脅威というのは非常に強い。日本や韓国が北朝鮮に対して感じる脅威よりも北朝鮮が日米同盟、米韓同盟に対して感じる脅威の方が大きいわけです。先日グアムから飛ばせた B52 の飛行訓練も米韓の合同軍事演習で合わせて行った。これはかなり強いデモンストレーションになります。日本では朝日新聞がこんなちっちゃい記事ですが、このへんあたり。与え合う脅威の落差を象徴しているわけです。

脅威を脅威でなくする

ところが、強硬政策だけでは北朝鮮の核問題は手詰まりを打開できないだろうというスタンスに、韓国では保守政権が継続したにもかかわらず、そういった方向にあります。世論の中でも、北朝鮮が核実験やったりミサイル実験をやりますと、脅威感は上がりますが、どう対応するかは、やはり対話に引き戻すべきだと、強硬一辺倒ではダメだという意見と、もっと強硬にすべきという意見が拮抗している。どこから来ているかというと、自民党と韓国の与党の違いだとばかりはいえない。日本の政治社会のこれまでの変化の問題と、韓国の政治社会の変化の問題ということが挙げられるんではないだろうか。韓国の政治社会が自らの立ち位置をどのように受けとめているか。かいつまんで言いますと、韓国はアメリカと中国との間に挟まれている。北朝鮮もいる。そうした中で、朝鮮半島の核問題にせよ、南北関係にせよ、北朝鮮の政治体制の問題にせよ、これを武力解決、戦争解決しようとした場合、どうなるかというと、韓国も生存できないわけです。戦争解決を排するとなったら、平和解決しかないわけです。平和解決が望ましいんじゃあなくて平和解決しかないわけです。平和的解決のさまざまなバライエティに頭を悩ませるべきであって、こぶしを振り上げて、国内向けに強硬を売り物にすることは、現実的基盤を持たなくなってきているというのが、北朝鮮の核やミサイル問題が依然として存在する中でも、韓国の政治社会で進んでいる考え方だと思われます。政治指導者の資質とかの違いというよりも、人々が地域において、パートナーとの関係において、あるいは脅威とされている国との関係において、いったい自国がどのような対応をすべきなのか。脅威を脅威でなくするには、敵を敵でなくすることな訳ですよね。それは外交を開くことなんです。少なくとも。敵はなぜ脅威の手段を強めるのか。北朝鮮が核やミサイルを持とうとするのか。もちろんこれには私も反対ですから、容認しましょうということではまったくない。ただし、北朝鮮の方が強く感じている脅威が日本や韓国が感じてきた脅威より強いものがあるのがまったくの事実であります。自らが与えている脅威について少なくとも踏まえるということが、前提になる。

＊この記事は、3 月 20 日の総会で行われた金栄鎬（キムヨンホ）さんの講演「改憲安倍政権と東北アジア」の一部を抄録したものです。すべのテープ起こしをしていますので、ご覧になりたい方はご連絡ください。（文責：佐々木孝）

6月、8月新聞意見広告 呼びかけ人からのメッセージ

筆録　島村眞知子

次世代に核なき世界を手渡そう
呉YWCA

戦争ができる国を子どもたちに残さない!!
日本YWCA

今、沈黙と無関心は許されない。
行動するときです。合掌
武田隆雄（日本山妙法寺僧侶）

ここは一歩もひかず、大手を広げて止めたいと思います。
高田健（許すな！憲法改悪・市民連絡会）

「憲法を守る」発言が公言できない世の中にはしたくないですね。
石川幸枝（なかよし9条の会）

生活保護を減額し、賃金を下げるやり方は必ず破綻します。その時、安倍政権は憲法に、九条に責任を負わします。戦争しか彼の頭に浮んで来ないからです。
九条の会・おのみち（原田 健）

戦争の加害者にも被害者にもならないために日本国憲法を遵守し、平和をつくるために世界に寄与する日本であってほしいと願っています。
山口たか（市民自治を創る会）

改憲させないために、協力できることがあればなんでもしたい。
徳岡 真紀

安倍総理大臣は参議院選挙で再び勝利して、その勢いで憲法96条と集団的自衛権行使禁止の憲法解釈を変更して行使するための国家安全保障基本法案を提出するでしょう。憲法96条改正は、9条改正を容易くするためです。参議院選挙では護憲勢力の力を結集して、2007年の参議院選挙の時のように、安倍総理大臣の思惑を阻止しなければなりません。
井上正信（弁護士）

日本が世界に誇るものはたくさんあるでしょうが、中でも一番輝いているのが憲法九条だと思います。
原戸 祥次郎（森と水と土を考える会）

憲法九条を今こそ活かそう。戦前戦中の経験を通してやっと手にした憲法九条。その憲法にしるされた「平和と人権」の実現こそ、わたしたち民衆の願い。
西岡 由紀夫（ピースリンク広島・呉・岩国）

非暴力・絶対平和を求めます。
九条の会・広島県北（塚本勝彦）

日本憲法の平和主義・平和的生存権を危うくする原発推進にも反対します。
九条の会・牛田（澤野 重男）

戦争はいやです!!「国防軍」なんてとんでもない!! 子どもや孫たちに平和な未来を!!
女性9条の会・ヒロシマ

中学校社会科教科書の記述比較

蝦夷の記述について　マイノリティーや民衆の歴史を軽視する育鵬社教科書

内海隆男（教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま）

はじめに　ＮＨＫの放映

本年の１月 11 日から毎週金曜日、4 回にわたってＮＨＫの BS 時代劇「火怨・北の英雄　アテルイ伝」が放映された。これは岩手県を舞台にしたドラマで、盛岡市在住の作家、高橋克彦さんの「火怨」を原作とした歴史巨編です。

「アテルイ」とは今から 1200 年前、強大な朝廷軍を相手に、東北に生きる民の誇りを背負い立ち向かった伝説的な英雄。その生涯を描いたドラマです。

戦前の記述

戦前の教科書である文部省『尋常小学国史（上巻）』（1935 年）の第 11 章「桓武天皇」では、「蝦夷征伐要地図」を載せ、こう記している。「さきに、日本武尊が蝦夷を御征伐なさったが、その後、齊明天皇の御代に、阿倍比羅夫がふたたび舟軍をひきゐて、日本海の海岸地方でさわいでゐた蝦夷をうち平げた。けれども、太平洋にのぞんでゐる地方の蝦夷は、なほたびたびそむいて人民を苦しめてゐたので、桓武天皇は坂上田村麻呂を征夷大將軍としてこれをお討たせになった。田村麻呂は、勇武な生まれつきでひとたび怒ると猛獣でも恐れて逃出すほどであったが、またなさけ深くやさしい人で、笑ふ時には、幼児でも親のやうになついて、はひ寄ったといふことである。田村麻呂は、兵をひきゐて出征し、いたるところでてがらをたて、とうとう今の陸中にまで進んで、賊をうち平げたので、これから、東北の地方は、はじめておだやかになった」。要するに坂上田村麻呂を東北の恩人として描いており、田村麻呂の対極にあるアテルイは、東北を騒がせた名もなき悪者、賊の首領でしかなかった。

戦後の記述

戦後になって蝦夷に関係してアテルイが教科書に記載されるのは 1990 年代以降であり、1997 年度使用教科書には 7 社中 3 社で、それ以降にほとんどの教科書に記載されるようになった。

アテルイが記載される前の記述では朝廷が支配権の拡大策として蝦夷を平定・征服（侵略）する。その際の淳足や磐舟、出羽の柵の設置、奈良時代には多賀城、秋田城の建設、平安時代に胆沢城、志波城の建設の場所や年代を示した「東北地方への進出」の地図を載せる。人物では坂上田村麻呂が征夷大将軍として桓武天皇時代に平定した側の人物として記述するのが普通の書き方であった。それが 1990 年代になり平定された側のアテルイが登場するようになる。そのアテルイ登場の背景にはアテルイ顕彰・復権運動があった。その運動の高まり・広がりが教科書記述となったのである。そのことについては「アテルイ復権の軌跡とエミシ意識の覚醒」（岡本雅享　福岡県立大学）の論文に詳しいが、その一部を次に紹介する。

勝者の描く歴史によって、アテルイは歴史の中に埋もれ、命を賭して自分達の国を侵略者から守ったエミシのリーダーたちは、田村麻呂の英雄伝説が流布される中、逆賊、悪者として、民間伝承の中では鬼にまで貶められて、語られていった。東北人は、勝者の描く歴史を史実と思い、故郷を守った祖先の英雄を、悪者、鬼として語り継いできたのである。だからこそ、東北が中央への従属を断ち切り、誇りをとり戻すためには、「日本」の歴史の中で賊と蔑まれたアテルイを、祖先の英雄として評価しなおす作業が必要だったのである。アテルイ顕彰・復権運動には、東北人の中に醸成されてきた負のイメージを払拭する願いが込められていたともいえる。くわしくは http://www.keiho-u.ac.jp/research/asia-pacific/pdf/review_2011-01.pdf を参照されたい。

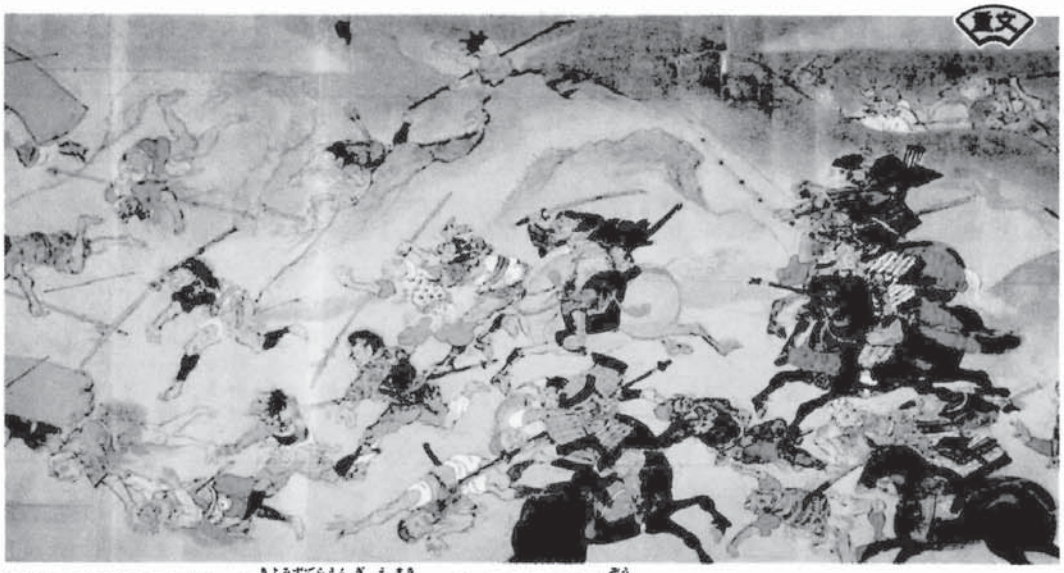
中学校歴史教科書の記述

蝦夷についての記述でもっとも多く取り上げているのは教育出版である。特設ページで１ページは奈良時代に起きた伊治呰麻呂の乱を取り上げ、（参考：教育出版ｐ42）もう１ページでは平安時代の阿弖流為の戦いを記述している。（参考：教育出版ｐ43）
前者の乱を取り上げている教科書は他にない。
後者では戦いの様子を理解させるために資料として『続日本紀』の文章や『清水寺縁起絵巻』の絵画を載せている。また阿弖流為ともいわれる悪路王の首像の写真もある。

次には東京書籍であり、「蝦夷の抵抗」というコラムを設けてここにはアテルイの塚の写真を載せて説明している。（参考：東京書籍ｐ45）

育鵬社の記述は「律令のしくみを九州南部や東北地方へも広げていきました。東北地方に住む蝦夷がおこした反乱には、坂上田村麻呂を征夷大将軍として派遣し、これを鎮圧しました。側注　蝦夷の首長アテルイは、激しい抵抗の末、降伏した。」となっている。要するにアテルイは側注扱いであり、他社のようにアテルイの塚や碑（清水寺）、アテルイとされる面の紹介もない。したがって「載せてないことはない」という記述の仕方とみることができる。

坂上田村麻呂ではなく、アテルイこそ英雄であるとの見方が必要であるとの観点に立てば、少なくともコラムでとりあげるか、特設ページを設けることが必要であろう。「神話に見るわが国誕生の物語」に２ページもあてる（育鵬社）よりははるかに有意義であり、教育的であるといえよう。



↑蝦夷と朝廷軍の戦い（『清水寺縁起絵巻』　東京国立博物館蔵）

人物と地域から歴史を探ろう

伊治呰麻呂の乱と阿弖流為の戦い

8世紀以降、朝廷は、中央集権の国家のしくみを、九州地方や東北地方へもおげていきました。このころ、朝廷による支配をめぐって、東北地方ではどのような動きがあったのかを探ってみましょう。

伊治呰麻呂の乱

東北地方を従えるため、ときには武力を用いて攻めてくる朝廷軍に対して、蝦夷（→p.32）は、さまざまな形で激しく抵抗しました。

780年、朝廷の役人の紀広純が、抵抗する蝦夷をおさえるために、軍隊を率いて伊治城（宮城県）に入りました。その時、もと蝦夷の指導者で、朝廷に従っていた伊治呰麻呂が反乱を起こしました。呰麻呂は、捕虜にした蝦夷で編成された軍を指揮して伊治城を囲み、広純を殺害しました。さらに、朝廷が東北地方を支配するための最大の拠点にしていた多賀城（宮城県）を襲い、兵器や食料をうばって、城に火を放ったのです。

驚いた朝廷は、数万人の軍隊を組織して、乱をしずめようとしましたが、2か月たっても反乱軍は多賀城にとどまったまま。4000人余りの蝦夷軍のうち、70人余りを討っただけでした。

朝廷の役人に従っていた呰麻呂は、なぜ反乱を起こしたのか。

多賀城跡の碑　東京都・宮城県・岩手県・福島県の境界で、奈良時代に建てられたものです。

多賀城跡の外郭　奥羽山脈・宮城県・福島県の境界で、奈良時代に建てられた城のものです。

教育出版 42 ページ

坂上田村麻呂と阿弖流為の戦い

伊治呰麻呂の乱ののちも，朝廷は，蝦夷を従えようと何度も軍を送りましたが，強い抵抗にあい，退けられました。その最大のものが，阿弖流為との戦いです。

789年，桓武天皇は，蝦夷が本拠地としていた北上川中流の胆沢地方を一気に攻め落とそうと，10万人の大軍を送りました。しかし，蝦夷の族長であった阿弖流為の率いる軍に包囲され，多くの死者を出して敗退しました。

『続日本紀』に記録された蝦夷との戦いの様子（一部の要約）

「阿弖流為の本拠地に着くと，蝦夷軍は退却したので，彼らと戦いながら，彼らの住居を焼き，巣伏村に進んだ。ここで，さきに北上川を渡った軍と合流する予定だったが，はばまれてまだ到着していない。そこへ，蝦夷の軍勢800人ばかりが次々とやってきて，政府軍をさえぎって戦った。…さらに400人ばかりの蝦夷軍が東山から現れて政府軍の後ろに回った。前後から攻撃されて，戦死25人，矢に当たった者245人，おぼれ死んだ者1036人，裸になって泳いで逃げた者1257人，という損害で，残りは多賀城に逃げ帰った。」

東京書籍 45 ページ

その後も阿弖流為は，13年にわたって朝廷軍と戦いましたが，802年，征夷大将軍の坂上田村麻呂が率いる軍に降伏しました。坂上田村麻呂は，蝦夷を従えるためには阿弖流為らの協力が必要であるとして，朝廷に助命を願い出ました。しかし，聞き入れられず，阿弖流為は河内（大阪府）で処刑されました。

その後も蝦夷の抵抗は断続的に続きましたが，胆沢城や志波城を築いて支配を強める朝廷のもとに，しだいに従えられていきました。一方，朝廷にとっては，東北地方の蝦夷を従えるための約40年にわたる戦いは，国家財政や民衆に大きな負担を与えるものでした。

→悪路王の首像（鹿島神宮蔵）　悪路王は阿弖流為であるとの言い伝えもあります。

教育出版 43 ページ

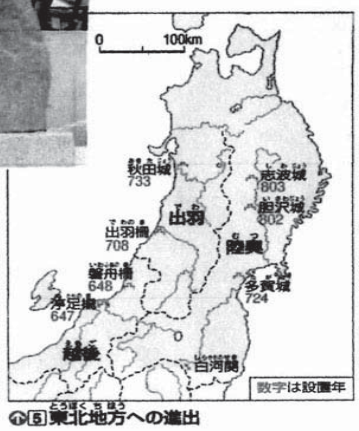
歴史にアクセス　蝦夷の抵抗

朝廷は，東北地方に住み，朝廷の支配に従わない人々を蝦夷と呼び，しばしば貢ぎ物をおさめるよう強制し，ときに武力で従わせようとしました。

これに対して，蝦夷の人々は激しく抵抗しました。胆沢地方（岩手県奥州市付近）を中心とした蝦夷の指導者のアテルイも，その一人です。789年，5万人の朝廷軍がアテルイの本拠地を攻撃しました。しかし結果は，アテルイのたくみな作戦の前に朝廷軍の惨敗に終わりました。

797年，坂上田村麻呂が征夷大将軍（蝦夷を征討するために設けられた軍の総司令官）に任命されると，801年，4万人の朝廷軍を率いて，ようやく胆沢地方を平定し，翌年，大きな胆沢城をつくりました。アテルイは，軍を率いて降伏し，捕虜として都に連れていかれました。田村麻呂は，朝廷にアテルイの命を助けるように強くたのみましたが，その願いは聞き入れられず，アテルイは河内（大阪府）で処刑されました。

↑4 アテルイが処刑されたと伝えられる場所に立つ碑　坂上田村麻呂にゆかりのある京都市の清水寺にも，アテルイをたたえる碑が立てられています。（大阪府枚方市）



↑5 東北地方への進出

写真提供　内海隆男

上関原発建設予定地の埋め立て問題－推進の動き再浮上

渡田正弘（上関原発止めよう！広島ネットワーク）

1、建設推進に固執する中国電力

中国電力 (以下中電) は、埋め立て免許期限切れ前日の 2012 年 10 月 6 日、山口県に対し上関原発建設予定地の埋め立て免許の 3 年延長を申請した。しかし、当時の民主党政権は原発の新増設は認めない戦略を決めていた。当然ながら、中電の延長申請に対し、官房長官と経産相が「建設を認めぬ」と表明した。また、山本繁太郎山口県知事も「申請は許可できない。不許可処分をすることになる」と明言した。広島県の市民団体なども、中電に対し免許延長申請の取り下げを申し入れた。

一方 2013 年 1 月に、中電の苅田知英社長ら幹部 7 人が山口県知事と県議会議長を訪問しており、「現状維持」への協力を強く要請したと思われる。

中電は、申請理由を「現状維持」の姿勢を示すためとしている。地元上関町の意向や民主党政府がエネルギー戦略の閣議決定を見送ったあいまいさを踏まえての判断と推測できる。2013 年 3 月期の業績予想は、連結決算の最終赤字としては過去最大になり、小手先のコスト改革を打ち出している。しかし、「黒字転換には原発頼み」という旧態依然の方針は強固のようだ。そして、いずれ電気料金値上げを言い出す可能性も高い。

2、公約違反の山口県知事

中電の延長申請以降、山口県の市民団体など 11 団体以上が山口県知事に対し早期不許可の要請行動を重ねてきた。それにもかかわらず、山口県は、姑息にも中電に対し 4 度も補足説明を要求した (10 月 23 日、11 月 22 日、2013 年 1 月 4 日、1 月 30 日)。延長手続きの事務処理は 32 日以内がめどとされている県の内規を全く反故にして。

とうとう 3 月 4 日、山口県知事が回答期限を 1 年程度とする 5 度目の補足説明を要求する旨を県議会で表明。つまり、埋め立て免許判断を何度も延ばした挙句の 1 年先送りである。祝島島民らが傍聴席から激しく抗議の声を上げたが、知事は発言を中断して無言のまま。知事は山口県を「安倍首相足下の県」と表現し、支持基盤の自民党や安倍政権の意向に従うのみで、主体的判断ができない。「公約違反」の認識は全くない無責任さであり、知事失格に値する。

それに対して建設に反対する人たちが、3 月 14 日山口市で、中電が祝島島民ら 4 人を 3900 万の損害賠償 (当初の 4800 万円を減額) で訴えているスラップ訴訟（いやがらせ訴訟）について考え、建設計画阻止を訴える集会を開催し、山口県内外から約 230 人が集まった。その後、参加者が山口県庁に向かい中庭で抗議行動を約 2 時間行なった。

3、祝島漁協が補償金受領に賛成

2 月 28 日、祝島で開催された山口県漁協主催の集会で、県漁協祝島支店 (旧祝島漁協) が受け取りを拒否している漁業補償金約 10 億 8 千万円の取り扱いが協議され、支店組合員による無記名投票の結果、過半数が受け取りに賛成した。補償金をめぐる採決は 2009 年 2 月、10 年 1 月、12 年 2 月に続き 4 回目。過去 3 回はすべて受け取り反対が賛成を上回り、3 回目以降は祝島支店は補償金を議題にしないことも決議していたが、県漁協はその決議を無視した。

また、県漁協による一方的な開催通知に反対派が異議申し立てをしたが認められなかった。今回は反対派の正組合員であるが受け取りを容認した人が出たため賛否が逆転した。その背景には、祝島支店の赤字問題がある。漁業者は高齢化しており、年金に頼り、船を出せない人も多い。そして、魚価低迷により組合の赤字が増え、正組合員の赤字負担が大きくなっているという。会合の冒頭で県漁協が赤字問題の説明を行なうことで揺さぶりをかけ、採決に入ったそうだ。もちろん良いニュースではないので、今回の出来事が全国に誤解も含め波紋を投げかけている。しかし、これは漁業者に限った補償金問題であり、祝島島民の会全体の強い反対姿勢は以前と全然変わらない。

4、主要施設が撤去された田ノ浦

3 月 4 日、山本県知事による「公約違反」発言を聞かされた後、田ノ浦の現場を見に行った。浜には少し傾いて放置状態の仮桟橋があるのみ。浜の杭はすべて撤去され、主要な工事用プレハブ棟や監視やぐらもない。試掘坑では排気用のダクトがうなるだけ。何だか廃墟みたいである。蒲井地区にある建設工事業者用の主要プレハブ施設も撤去されていた。

この状態が続き完全撤去してほしいものだが、中電も当分は工事ができないと見込み、とりあえず主要施設の撤去をしたのだろう。しかし、建設推進の姿勢は変わらず地元準備事務所に 50 人強の従業員を配置しており、地元での広報活動を強化するとも伝えられているので要注意だ。

中国 13/3/5

上関埋め立て判断先送り

「裏切りだ」議場に怒号

反原発派住民 県議会が中断

山口県上関町の中国電力上関原発建設計画に反対する住民の怒号が4日、県議会の議場に響いた。「公約違反だ」「県民を裏切るのか」―。怒りの視線の先には、埋め立て免許延長の判断先送りを表明した山本繁太郎知事の姿があった。一方で推進派は国の方針を待つべきだと知事擁護の声を上げる。埋め立て工事中断から間もなく2年。山本知事の「方針転換」は新たな波紋を広げた＝1面関連。（久保田剛）

県議会には反対運動の拠点である上関町祝島の島民ら約40人が詰めかけた。険しい表情で傍聴席に陣取り、知事答弁が始まると「何のための知事か」「辞めてしまえ」などと激しく批判した。

議長の退場命令にも応じず、議事は約20分間も中断。「発言はできない」と諭す県職員に、祝島で漁業を営む女性は「生活のため30年間も闘ってきた。知事は傍聴席に上がってきて説明して」と詰め寄った。

3人が退場させられて議事が再開しても怒号は止まらない。山本知事が1年程度の判断先送りを明言すると、祝島の農業山田建夫さん(65)は「うそをつくのが県民のトップか」と吐き捨てた。上関原発を建てさせない祝島島民の会の山戸孝事務局次長(35)は「山本知事はわれわれにとって、もはや知事ではない」と話した。

衆院選で政権復帰した自民党は、民主党政権が掲げた「原発ゼロ方針」を撤回した。

上関町の原電推進議員会の右田勝会長(71)は「知事は国策に従うと言ってきた。判断は当然だ」。推進派の住民団体「上関町まちづくり連絡協議会」の井上勝美顧問(69)も「安全に万全を期そうと国が時間をかけている。知事が決められる問題ではなく、責められない」とかばった。

傍聴席からの退場を求める県職員に身を乗り出して抗議する原発反対派の住民

尾道で、3.11 避難移住者・保養者を支える

信恵勝彦（尾道 れいこう堂）

2011 年 3 月 11 日から 2 年が経ちました。この震災と津波と原発事故は、私たちの生活のあり方、生き方を根本から問い直す大きな出来事でした。多くの問題が発生し、未解決のまま今日に至っています。

今回の東日本大震災は、原発事故の放射能汚染問題もある、複合震災です。普通の地震、津波からの再生にはない難しい問題が山積みしています。私は 4～5 年前より山口の上関原発建設反対の立場で動いてますから、2011 年の福島第一原発の事故がどれだけ恐ろしい、大変な出来事だったかをこの 2 年間感じています。

国、政府、電力会社、原発関連企業、報道機関、自治体、そして私たちが初めて経験することばかりでした。どんな立場の人も右往左往したはずです。でもそれぞれの立場でしていかなければならないことがたくさんあります。

日本全体が再生に向けていい方向に向かうのが当然と思ってましたが、今回の史上最悪の原発事故と複合震災から 2 年経ち、国や政府は、東日本を中心に放射能汚染から人の命を守ろうとしてくれてるだろうか？　電力会社や原発関連企業は原発を今まで以上に大切に育てようとしているのではないだろうか？　報道機関は一方的な情報の伝達だけでなく、検証や独自の取材、生活をしている人に生きるのに役に立つ正確な情報を提供してくれているのだろうか？自治体は一番近い、住民を 1 番大切に考えてくれているんだろうか？

私たちは自分、家族、子ども、将来の子どもの為にこれだけの大事件の後、本当に変わろうとしているのだろうか？と、自問自答を繰り返しながら、毎日起こる理不尽な出来事（原発問題以外にも電力問題、自然破壊問題、沖縄基地問題、スラップ訴訟問題、風営法のダンス規制問題、等々）に、聞く耳を持ち、繋がる人とつながり、自分の言葉で発信していっています。そして行動しているつもりです。私たちの生活、未来の子ども達の生活、健康、命を考え、自分の言葉で伝える事が大切だと感じています。いわゆる口コミですが。

今、私は尾道で『ひなの会』という会の表にたち、関東圏や福島をはじめとした東北圏から、放射能汚染による命や健康への悪影響から西日本に移住や保養に来る家族の応援支援をしてます。約 2 年間活動をして問題意識としてお知らせしたいことがあります。抱えている困難ということでもあります。

○移住の家族が 99%母子家庭であり、元居住地との二重生活になるため、各家庭の差はありますが、尾道が仮の住まいでしかないこと。お子さんの就学、家庭の環境の変化により、いずれは関東や東北に帰らないといけないこと。『ずーと住みたいけど、どうなるんですかね？』とよく耳にします。

○1 年未満くらいの移住だとなかなか、地元のお母さん友達と、また地元の人たちとコミュニケーションがうまく出来ずに孤立してしまいがちなこと。

避難者同士の輪と地元のお母さん達の輪に見えない線が出来やすいこと。

『食べ物や飲み物の放射能汚染認識が違いすぎる』と見えない線が太くなってるかもしれません。

○家族全員で（お父さん、お母さん、子どもさん）で移住を希望されているとき、お父さんの仕事が尾道近郊で見つからないときは、尾道への移住はあきらめていること。（他の西日本に移住先があればよいのですが）

○尾道では過去 6 回、23 家族 60 名福島の家族を保養にお呼びしました。冬休み、夏休みなどの 10 日間程度の短期です。交通費、住居費補助をしています。福島に住まざるを得ない家族でも健康被害が怖い家族の方で、まだ金銭的余裕のある方、家族回りの理解がある方、WEBNET 環境にある方が全国の保養先に出かけています。そんな条件さえも揃わない家族は保養にも出られません。

○これは尾道に福島から来られた人の言葉です。

『スーパーで買い物をするのに、産地を選ぶだけで疲れる』

『放射能という言葉自体が会話に出ない、出すと空気が変わる』

『除染、公園や学校での子ども遊び、食べ物等、生活全般に＜＜思いやり隠蔽＞＞があると思う。放射能のことは気にしていない人はいないが、思いやりで言わない、行動しない、それが正しいことのようになってると感じている』

昨年、6 月に『原発事故 子ども被災者支援法』が議員立法で成立しました。避難、移住に関する素晴らしい法律ですが、政権交代後予算化なども含め施行される様子がありません。私たち全国の支援団体はこの素晴らしい理念法に命を入れるように活動もしています。チェルノブイリ原発事故の経験から、これから将来の放射能による様々な健康被害を最少に出来るように、保養や移住の活動を出来る限り続けていきます。皆様の暖かい支援、応援をこれからもよろしくおねがいします。

「ひなの会」の口座
ゆうちょ銀行
店番 518
口座番号 5103245
記号番号 15120-51032451

第九条の会ヒロシマ 2012 年度 報告

2012 年度活動報告

主な活動　　5 月　3 日　　5・3 憲法記念日リレートーク　シール投票
　　7 月 9 日～ 12 日　　意見広告をプラザ 1 F フリースペースに展示
　　8 月　6 日　　8・6 新聞意見広告
　　11 月　3 日　　広島県 9 条の会ネットワーク　憲法のつどい　アーサー・ビナードさん
　　2 月 16 ～ 17 日　　第 16 回許すな！憲法改悪・市民運動全国交流公開集会
　　18 ～ 19 日　　許すな！憲法改悪・市民運動全国交流会

会報、73 ～ 76 号発行　　世話人会 26 回　ほか　事務局会　発送作業など

ネットワークなど関係団体との連携

広島県 9 条の会ネットワーク、 ピースリンク広島・呉・岩国、教科書採択広島ネットワーク、
上関原発止めよう！広島ネットワーク、日本軍「慰安婦」問題解決・ひろしまネットワーク、
8.6 ヒロシマ平和へのつどい、許すな！憲法改悪市民連絡会、九条の会

日本軍「慰安婦」ネットひろしま毎月水曜日街宣

第九条の会ヒロシマ

2012年度　決算報告書
（2012年3月1日～2013年2月28日）

（単位：円）

収入の部			支出の部		
前期繰越金		296, 224	支出合計		5, 374, 918
内訳	現金	157, 527	支出内訳	文書費	425, 625
	普通預金	102, 697		通信費	556, 085
	振替口座	36, 000		行事費	18, 625
入金合計		5, 696, 440		旅費交通費	122, 000
内訳	意見広告賛同金	3, 757, 440		人件費	330, 000
	会費	1, 239, 000		会報編集費	100, 000
	カンパ	693, 000		事務費（消耗品費）	45, 805
	上関原発止めよう参加金	2, 000		外部会費・カンパ	63, 160
				雑費	6, 940
	20 周年企画賛同金	5, 000		新聞意見広告費	3, 701, 678
雑収入		6, 065		上関原発止めよう参加金	5, 000
			次期繰越金		623, 811
				現金	0
				普通預金	486, 811
				振替口座	137, 000
合計		5, 998, 729	合計		5, 998, 729

2012年度会計監査報告

2012年度会計につき、2013年3月18日（月）に監査を行った結果、帳簿、通帳類のすべてが適正に処理、保管され、正確に記載されていたことを報告します。

2013年3月18日

会計監査

河野 布美子 河野

ドーム前で 8・6 新聞意見広告を
配布する佐々木さんと石口さん

会計から

新聞意見広告の賛同金収入を、2012 年度は近年の実績よりかなり欲張って 375 万円と見込んだのですが、なんと見込みぴったりの金額を収納することができました。

最初の安倍内閣が改憲を叫んだ 2007 年に記録した賛同金額に匹敵します。賛同はのべ 1536 件、賛同人数は 1934 人です。会費は 516 件 123 万円、カンパは 302 件 69 万円と、それぞれ例年同様の拠出をいただきました。おかげさまで、12 年度の収支は黒字、次期繰越金は 62 万円となり、11 年度末の次期繰越金 29 万円を大きく上回りました。13 年度は意見広告の支出が大幅に増加する見込みなので、この繰越金は大変貴重です。

佐々木孝

3.10 つながろうフクシマ！さようなら原発ヒロシマ大集会

つながろう！ひろしま～ふくしまみんなの広場

2012 活動報告（実行委員会など関係団体含む）

3月　20日　第九条の会ヒロシマ総会 2012　広島 YWCA　14：00～
22日　上関原発止めよう！広島ネットワーク世話人会　国際会議場 3F
24日　広瀬隆講演会　上関原発広島ネット（中国新聞ホール）
28日　スリーマイル 33 周年中電前街宣（上関原発広島ネットワーク）
29日　第九条の会ヒロシマ会報 73 号発送　＆世話人会①
4月　5日　広島県９条の会ネットワーク例会
13日　上関ネット事務局会議
17日　第九条の会ヒロシマ世話人会②　国際会議場研修室　13：30
21日　慰安婦問題解決ひろしまネット設立記念講演会 資料館会議室１
26日　チェルノブイリ 26 周年中電前行動　17 時～上関原発ネット
5月　3日　5・3 憲法記念日リレートーク
9日　第九条の会ヒロシマ世話人会②　8・6 新聞意見広告チラシ作り
広島県９条の会ネットワーク例会
14日　放射能（小中高）副読本　広島県と市へ申入れ（上関原発ネット）
16日　第九条の会ヒロシマ世話人会③　8・6 新聞意見広告チラシ作り
20日　広島県９条の会ネットワーク県内交流会 in 三次
22日　第九条の会ヒロシマ世話人会④　8・6 新聞意見広告チラシ作り
24日　８・６ヒロシマ平和へのつどい 2012 第１回実行委員会
26日　脱原発 1000 万人署名本通り街宣（上関原発止広島ネットワーク）
6月　2日　会報＋８・６新聞意見広告チラシ発送　3070
上関原発止めよう！広島ネットワーク事務局会
6日　日本軍「慰安婦」問題解決・ひろしまネットワーク水曜日街宣
10～11日　伊方原発再稼働反対松山・伊方行動
11日　オスプレイの試験飛行に抗議　岩国駅前街宣と抗議声明
13日　広島県９条の会ネットワーク例会
13~14日　憲法審査会院内集会（衆議院憲法審査会中止のため傍聴なし）
19日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑦
23日　東広島九条の会
24日　子どもの本九条の会ひろしま　講演会
26日　ドイツ科学者の２人講演会広島市民交流プラザ６Ｆ　18 時
27日　中国電力株主総会　中電本社前行動　8：30～12：30
30日　原発民衆法廷プレ集会　講演「原発は違憲」澤野義一さん
30日　ヘルプハガキ発送
7月　1日　大飯原発反対緊急デモ 250 人
3日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑧　13：30～16：00 国際会議場
4日　日本軍「慰安婦」問題早期解決ひろしまネット水曜日行動 12 時
5日　日本軍「慰安婦」問題解決・ひろしまネット学習会　足立修一さん
7日　教科書ネット　高嶋伸欣さん　14：00～　ゆいぽーと
9日～12日　意見広告をプラザ１Ｆフリースペースに展示
10日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑨　13：30～16：00　国際会議場
14日　広島県９条の会ネット交流会＆九条の会はつかいち高田健講演
15日　原発民衆法廷広島　広島市民交流プラザ５階ＡＢＣ
16日　さよなら原発 10 万人に集会＆デモ　東京に呼応して
17日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑩　紙面づくり
19日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑪
20日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑫
24日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑬
25日　世話人会⑭　校正２　　広島国際会議場 3F 研修室
26日　世話人会⑮　広島国際会議場 3F 研修室
27日　世話人会⑯　校正３　　広島 YWCA
30日　世話人会⑰　校正４　　広島国際会議場 3F 研修室
31日　広告社へ入稿
8月　1日　新聞社へ入稿　終了
日本軍「慰安婦」問題早期解決ひろしまネットワーク水曜日行動
6日　７時　ドーム前　8・6 新聞意見広告＆市民による平和宣言配布
7：45　グラウンドゼロのつどい　　8：15　ダイ・イン
8：45　デモ　13：00　NODU ヒロシマ集会
15：30～　核兵器廃絶をめざすヒロシマの会集会
8日　8・6 新聞意見広告コピー発送＋ミニ世話人会⑱　530 通
10日　日本軍「慰安婦」広島ネット学習会　田中利幸さん＆NHK 映像
21日　第九条の会ヒロシマ世話人会⑲　13：30～16：00
9月　5日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネット水曜日街宣　メルパルク前
9日　オスプレイ配備反対！　沖縄連帯！ヒロシマ集会 原爆ドーム前
13日　第九条の会ヒロシマ会報７５号発送　＆世話人会⑳
14日　広島県９条の会ネットワーク例会
24日　上関原発止めよう！広島ネットワーク中電前行動
25日　広島市議会へ原発ゼロ、伊方原発の再稼動反対意見書採択請願
29日　広島 YWCA60 周年記念感謝のつどい　メモリアルホール
九条の会講演会　三木睦子さんの遺志を受継ぐ　日比谷公会堂
30日　オスプレイの初飛行抗議　市民大集会岩国市役所前＆パレード
伊方原発再稼働を止めよう広島集会　資料館会議室１　＆デモ
10月　1日　オスプレイの沖縄配備抗議現地行動　（岩国今津川船溜まり）
3日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネット水曜日街宣　メルパルク前
5日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネット学習会　小林久公さん
7日　村田久さんを偲ぶ会　小倉
10日　愛宕山裁判（広島地裁）
上関原発止めよう広島ネット中電前行動＆祝島島民と座り込み
中電へ埋立許可申請抗議、上関損害賠償裁判についての要請
15日　第九条の会ヒロシマ世話人会 21
16日　広島県９条の会ネットワーク例会
20日　中国人受難者追悼友好を記念の集い第５回訪日団安野受難碑前
21日　オスプレイ沖縄配備抗議！ 10.21 ヒロシマ集会（真喜志さん）
26日　反原発デー行動 in ヒロシマ（上関ネット主催、中電本社前）
反原発デーデモ（伊方廃炉ネット広島主催）
3日　憲法の集い「福島、広島、沖縄をつなぐもの」高橋哲哉講演会
7日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネット水曜日街宣　メルパルク前
13日　広島県九条の会ネットワーク例会（18:00、平和記念資料館会議室）
12月　4日　第九条の会ヒロシマ世話人会㉒
5日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネットワーク水曜日街宣　本通前
9日　広島とマレーシアを結ぶつどい＝廣島の加害（留学生会館）
12日　岩国公有水面埋め立て裁判（１５：００、広島高裁）
14日　オスプレイ配備と低空飛行を許さないヒロシマ相談会（広島 YWCA）
15日　オスプレイ配備と低空飛行反対（仮称）集会・湯浅一郎講演会
16日　許すな！憲法改悪・市民運動全国交流集会相談会（大阪）
18日　マレーシアと広島を結ぶ会総括会議（広教組広島地区支部）
19日　広島県９条の会ネットワーク例会
27日　第九条の会ヒロシマ事務局会（五日市カスト）
2013 年
1月　6日　2013 市民運動新春討論会（日広島市市民交流プラザ和室）
9日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネット水曜日街宣　本通電停前
10日　第九条の会ヒロシマ会報 76 号発送（広島国際会議場 3F 研修室）
22日　第九条の会ヒロシマ世話人会㉓（ゆいぽーと）
30日　広島県９条の会ネットワーク例会
2月　6日　日本軍「慰安婦」早期解決広島ネット水曜日街宣　メルパルク前
8日　慰安婦ネット学習会　高雄きくえさん　性暴力と広島を考える
11日　「2.11」集会、キリスト者　14:00、カトリック会館、大川清さん
ヒロシマ革新懇　13:30、メモリアルホール、講師：蓮池透さん
広島 YWCA　18:00、講師：アーサービナードさん
16日　許すな！憲法改悪市民運動全国交流会（大阪、17 日まで）
19日　第九条の会ヒロシマ世話人会㉔
26日　第九条の会ヒロシマ世話人会㉕
3月　5日　第九条の会ヒロシマ世話人会㉖
10日　つながろう！ひろしま～ふくしまみんなの広場（10:00、中央公園）
つながろうフクシマ！さようなら原発ヒロシマ大集会（中央公園　13:00）
11日　岩国公有水面埋め立て裁判（広島高裁）
16日　山田忠文さんを偲ぶ会
17日　イラク攻撃 10 年シンポ（資料館会議室１）
20日　第九条の会ヒロシマ総会 2013（広島 YWCA）キム・ヨンホさん

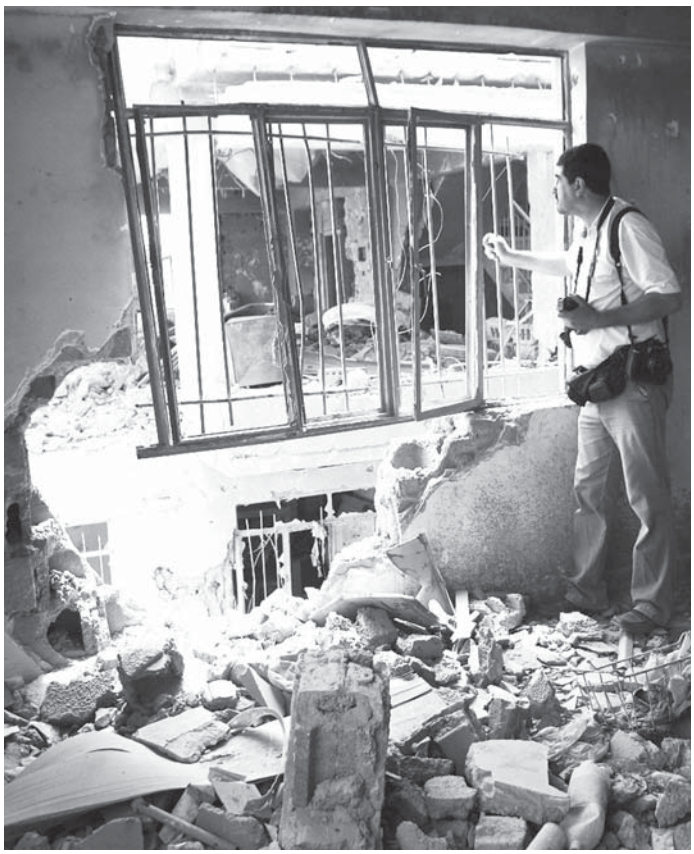
イラク戦争から 10 年　　日本政府はイラクの人々に謝れ、つぐなえ

藤井純子

アメリカがイラク戦争を開始して 10 年。嘘で始まった戦争にいち早く支持を表明した小泉政権。私たちは 3 月 23 日、このイラク戦争を検証する広島集会を行いました。東京や各地でもこの検証集会が開かれ、広島には急遽、イラクの現状を写真で訴えるジャーナリストのアリ・マシュハダーニさんと、イラク支援を続け、「イラク戦争の検証を求めるネットワーク」呼びかけ人」の一人でもある高遠菜穂子さんが来てくださいました。急な呼びかけにもかかわらず 50 人の方々が駆けつけてくださり、イラクの現状を聞き、戦争の検証の必要性を確認しました。日本も参加した「私たちの戦争」を問い直すことは、憲法の改悪をし、集団的自衛権を行使する軍事的な国にしない、これからの日本のあり方にとって大変重要ではなかったでしょうか。

終わっていないイラク戦争、伝えなければ

アリさんは、撮影された写真で米軍がイラクでしてきた残虐の数々を明らかにして下さいました。「なぜイラクの人の死体を写すんだ」とよく聞かれるそうですが、それは消すことはできない事実であり伝えなければならないと考えるからだそうです。アリさんは、ロイター通信、BBC、NPR のカメラマンとしてアンバール、ティクリートの地域を取材・報道され、2008 年イラク・ハディーサで米海兵隊がイラク人 24 人を虐殺する事件を追った映像「Rules of Engagement」の一部も担当されました。中東 5 社のテレビ、 5 社の新聞社で特派員としても活動されています。写真の中には目を覆いたくなるような曰くつきの写真も含まれていましたが、目を背けてはならないのです。それは日本も深く関与した「私たちの戦争」だからです。



写真提供 志葉玲さん　米軍に攻撃されたラマディのアリさんの自宅

日本は海・陸・空自衛隊をイラクに派遣しました。アリさんは、イラクと平和的な関係だった日本がなぜ？と思い、信頼を失いかけたと話されました。日本政府は、海自を（呉からも）多国籍軍への補給に、陸自は（広島の海田基地からも）サマワに、空自は C-130 を派遣し米軍兵士たちの輸送もしました。あの頃日本国内でもイラク派遣に対して、戦争に参加するな、自衛隊の海外派遣反対という運動が全国的に展開されました。広島でも 6000 人の人文字集会をはじめ、様々な行動を続け、多くの人が集まって反対の声を挙げました。また、高遠菜穂子さんをはじめ、広島からもイラクに行き、とりわけ劣化ウラン弾による核汚染被害者の支援をしようとする人たちともそつながり、日本の人々への信頼は取り戻し、より強くなりつつあると言って下さいました。アリさんは、そんなイラク戦争の実態を隠したい米軍に 8 回も拘束され、拷問を受けたりされています。最近はイラク政府からも逮捕される事態が起こり、イラク戦争は終わっていないどころか、ますます混迷が深まるばかりのようです。だから自分は取材し伝える活動を続けていくんだと力強く締めくくられました。

日本政府はイラクの人々に謝れ、つぐなえ

イラク支援を続けておられる高遠菜穂子さんは、今回は「イラク戦争の検証を求めるネットワーク」呼びかけ人」の一人として話しをされました。高遠さんは、03 年 5 月よりイラクで活動開始し翌年 4 月、ファルージャで「自衛隊の撤退」を要求する現地武装勢力に拘束されましたが、現在もイラクの人々とつながり、支援活動を継続されています。昨年『破壊と希望のイラク』（金曜日）という著書を出されています。お話しの中で「日本はイラクに対して復興支援をすればいいのではない。米の戦争を指示し、自衛隊を派遣し、あの戦争にお金を出した国として、謝罪し、賠償をするべきだ」と強く発言をされました。そして開戦日の 3 月 20 日に東京で行われた「イラク戦争の 10 年と日本」で採択された宣言を紹介してくださいました。これは広島で集まってくださった皆さんと共有できるものではないでしょうか。（次ページ）

この日アリさんと高遠さんは朝、広島に着くとすぐにお祈りをしたいと言って原爆慰霊碑に向かわれました。平和公園は春休みに入り大変混雑をしていましたが、原爆資料館内ではピースボランティアの柏谷紘計さんの説明を涙をにじませながら熱心に聞かれていました。碑めぐりは被爆者の塩治節子さんが案内をしてくださいましたが、ジャーナリストらしく詳細を聞かれたり、逆に取材をされたり。随所でイラクとヒロシマが重なって見えるようでした。案内のお二人はワールドフレンドシップセンターの山根美智子さんに紹介して頂いたのですが、こんなつながりを大切にしていきたいなと思った 1 日でした。アリさんをはじめ皆様に感謝！

イラクと日本および世界の平和を実現するための早稲田宣言

いかなる国や地域の人々であれ、生命や尊厳、平等という譲ることのできない権利を保障されることは、世界における自由、正義および平和の基礎です。2003 年 3 月に米英両国を中心として開始され、日本が支持・支援したイラク戦争は、世界人権宣言に謳われる精神とは正反対のものであることを、ここに確認します。

イラク戦争では、少なくとも 11 万人もの命が奪われ、現在もなお、300 万人近くもの人々が、国内外での避難生活を余儀なくされるような状態を招きました。それが「自由と民主主義」を標榜する先進諸国によって引き起こされたことは断じて許されないことであり、この戦争を止められなかった市民社会にとっても痛恨の極みです。ファルージャなどイラク各都市での無差別虐殺や、アブグレイブ刑務所などでの組織的な拷問や虐待、クラスター爆弾や劣化ウラン弾など非人道的兵器の多用など、米軍ほか多国籍軍がイラクで行なってきたことは国際人道法に著しく反することは明白であり、また「人道に対する罪」にあたる可能性があります。

自国のイラク戦争への関与について検証を行ったオランダで、独立検証委員会が結論づけたように、イラク戦争は国連憲章に定められた武力行使の法的根拠を持たない、国際法上も違法なものでした。そうした戦争を日本が支援・支持したことは、日本国憲法前文の「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占める」という精神に反し、また名古屋高裁が憲法判断を示したように、航空自衛隊による米軍の人員・物資の輸送支援は、集団的自衛権の行使、参戦行為であり、憲法違反です。これらの事実が持つ重大さは、決して風化させてはならず、日本のイラク戦争への関わりの検証は歴史的、国民的な課題です。したがって、私たちは、以下の行動を提起します。

○政府は、第 166 回国会閣法第 89 号附帯決議に従い、イラク戦争への日本の関わりについての検証を行うこと。市民側も政府任せでなく、検証を行うこと。

○政府は「石油の確保のため」「周辺国の脅威に対抗するため」という理由で、イラク戦争を支持するなど、自らの利益のために他者の犠牲を顧みない姿勢を改め、平和共存の道を模索すること。

○市民は、戦争を始めた当事者たちの責任を問い、国際刑事裁判所での訴追や「普遍的管轄権」の行使を含む追及を、国際社会に求めていくこと。

○市民は、今後もイラクの状況について関心を持ち続け、情報収集や共有に務めること。

○政府、市民それぞれは、困窮するイラク難民・避難民や、劣化ウランが原因と思われる健康障害を抱える人々など、戦争被害者に対し、今後も、あらゆる支援を行なっていくこと。

○政府、市民、それぞれは、平和憲法の精神に基づき、戦争に参加、支援する動きに断固反対し、あらゆる国際紛争について平和的な解決を目指すこと。

○本宣言を、市民側は広め、協力の輪を広げていくこと。政府は政策に反映すること。

2013 年 3 月 20 日　　イラク 10 集会「イラク戦争の 10 年と日本」参加者一同

福島原発事故被災の子どもと保護者たち、保養を広島で。　交通費支援にご協力ください！

福島では大地が放射能に汚染されたため、地べたに寝そべることはできません。2012 年春に来た子どもたちは平和大通りの真ん中で、芝生を楽しむかのように寝そべって遊び始めました。夏に来た子どもたちは、思いっきり泳いで遊んで帰りました。

3.11 から 2 年経ちますが、福島第一原発事故は収束しないまま、福島の人々は放射能に汚染されたままの土地に生活し続けています。食べ物に気をつけ、線量を気にしながらの毎日の生活はストレスがたまります。特に、放射能に弱い子どもたちにとっては思い切り外で遊ぶこともできず、健康への被害が心配されています。

子どもたちを広島に呼んで、思う存分外遊びをしてもらいたい、放射能を体外へ排出させたい、甲状腺検査を受けさせたい、ゆっくり身体を休めてほしい・・・　私たちは休みのたびに広島での家族保養を受け入れてきました。子どもたちの健康を守るために、保養を希望する保護者の声は日を追うごとに強まっています。

広島までの交通費を支援するためにどうか、ご協力ください。（平木薫）

カンパ振込先　　郵便振替　　加入者名　福島支援プロジェクト 口座番号　０１３６０－６－５０３５６

問合せ先　　平木　薫　　０９０－７９７９－０１９３

お知らせ

◆オスプレイ配備撤回！米軍機低空飛行訓練中止！４・６ヒロシマ集会
―全国自治体アンケートを手がかりに―
４月６日（土）　13：00 ～ 16：00　原爆資料館地下　会議室１
参加費：1000 円
講　師：湯浅一郎さん（NPO 法人　ピースデポ代表）

◆オスプレイ配備反対・米軍低空飛行を許さない市民ネット結成 in 三次
5 月 12 日（日）13：00 ～　三次きんさいセンター
主催：オスプレイ配備と米軍機低空飛行を許さない市民ネットワーク準備会
連絡先：090-3373－5083（新田秀樹）

◆「約束」先行上映会とトークショー　（一般上映 4 月 13 日から）
4 月 7 日（日）13：00 開演　横川シネマ　1500 円均一
お話し　斉藤潤一監督　山本太郎さん、河井匡秀弁護士
連絡先：082-231-1001（横川シネマ）

◆樋口健二さん講演会
原発被曝労働の実態～被曝労働なしに収束・除染作業もできない～
4 月 21 日 (日)14：00 ～ 16：30　広島平和記念資料館地下会議室１
(広島市中区中島町 1－2、(082－241－4004)
参加費：700 円 (学生、障がい者無料)
講　師：樋口健二さん（報道写真家）
主　催：上関原発止めよう！広島ネットワーク
連絡先：082－922－4850（木原）

◆「なぜ在外被爆者は原爆手帳がとりにくいのか」シンポジウム
4 月 27 日 13；30 ～ 16；30　東方 2001　参加費　500 円
平野伸人さん（韓国の原爆被害者を救援する市民の会長崎支部長）
河井章子さん（同会会員千葉）
許光茂さん（対日抗争期強制動員被害調査委員）
来賓　辛亨根駐広島大韓民国総領事　平岡敬元広島市長　ほか
連絡先　082-822-0766（豊永恵三郎）

◆教科書ネット・ひろしま総会 / 記念講演会
4 月 27 日 (土)13:30 ～ 16:30　ゆいぽーと（広島市男女共同参画センター）
参加費（年会費）：1000 円　中区大手町五丁目 6 番 9 号
講師：内海隆男さん、山川滋さん
主催：教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま
連絡先：柴田もゆる（0829-32-0876）

◆九条の会・はつかいち　憲法・原発シール投票
4 月 27 日 (土)　15：00-16：00　宮島口桟橋

◆九条の会・はつかいち　憲法講演会
6 月 29 日（土）　13：30-16：00　廿日市市商工保健会館交流プラザ
講師：アーサー・ビナードさん (詩人)
参加費：800 円　手話通訳あり、託児 (要事前連絡)
主催：九条の会・はつかいち
連絡先：090-3373-5083(新田)

改憲 No ！　ジャンボチラシ 40 万枚配布！　原発 No ！

▼改憲をして軍隊を認め、基本的人権を狭め、国民主権を危うくする政治勢力が大きくなりました。このままでは参議院選挙でも改憲賛成派が多数になるかも知れません。私たちが重大な岐路に立ち、次世代に責任を果たすために、今夏の参院選を前にジャンボチラシを配布し「改憲 NO! 原発 NO!」の県内世論を高めましょう。

▼広島県内 40 万世帯（広島市内、県北、東部、西部など）へ各戸配布します。チラシ配布を引き受けてくださる方、募集中です。

6 月 **9** 日（日）配布予定。　この日が望ましいですが、その前後一定期間を設ける予定です。

主　催：広島県９条の会ネットワーク
連絡先：082-222-0072（石口）　または第九条の会ヒロシマ藤井まで

▼広島県北　三次金曜日デモ
毎月第２第４金曜日　天神公園 18：00 ～出発（約１時間）徳岡真紀

◆日本軍「慰安婦」問題を考える　上映会
4 月 20 日（土）広島平和記念資料館地下会議室２
参加費：500 円（学生無料）
第１部　11：00 ～ 14：40　　第２部　17：30 ～ 20：40
主　催：日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク
連絡先：090-3632-1410(土井)

◆聞こえますか？ハルモニの叫びが！
～ 日本軍「慰安婦」被害者証言集会 in 広島～
5 月 19 日（日）　13：30 ～ 16：00（開場 13 時）広島市留学生会館
講演：梁澄子さん（日本軍「慰安婦」問題解決全国行動共同代表）
ハルモニの訴え：吉元玉さん（84 才）
資料代：1000 円（学生無料）
主　催：日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク
連絡先：090-3632-1410(土井)

◆「ハルモニが語る　歴史の真実」（福山）
5 月 18 日 (土) 13:30 ～　日本キリスト教団福山延広教会 (福山市本町)
参加費：1000 円　問合せ：080-3053-5121(宮野)

◆日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネット韓国水曜デモ連帯街頭行動
日時：毎月第１水曜日／４月３日／５月１日／６月５日
場所：紙屋町メルパルク前（雨天の場合、本通り電停前）
内容：チラシ配布とリレートーク

5 月　3 日（金）広島県民文化センター　マイライフマイ憲法　神田香織講演
5 月　6 日（月）午後メモリアルホール　アーサービナード・山本太郎・赤城修司
5 月 18 日（土）西区九条の会連絡会 5 周年のつどい　那須正幹・平岡敬
6 月　1 日（土）13：30 ～　広島工大広島校舎　広島マスコミ９条の会
「８周年のつどい」藤森研・専修大教授
6 月 23 日（日）14：00 ～　原爆資料館メモリアルホール
子どもの本・九条の会広島　４周年のつどい

事務局から

2013 年会費、意見広告賛同金のお願い

・2013 年意見広告賛同金、会費・カンパを送って頂いた皆さま、有難うございました。今年度も皆さんのご支援で活動していきます。引き続きお支えくださいますようお願い申し上げます。

・今年は新聞意見広告を参議院選挙の前に掲載しようと急いでチラシを作りました。ご賛同、ご参加下さる方は振替用紙を切り離して使ってください。直接お渡しくださる場合も、ご記入くださると有難いです。

後記

● 今年の新聞意見広告、２回掲載するなんて決めたけど大丈夫かとちょっと心配。でも今が大切。一生懸命呼びかけ、皆さんを信じてがんばろう。㋐
● 選挙の一票の格差について、司法が違憲だと突っ張ってるけど人口の少ない地域の声がますます届かない。小選挙区による死票の山はどうなん？
● 鬼編集長が原稿をせかすけど早口の人のテープ起こしって大変なんだゼィ！　やってみる？　㋚
● 96 条パンフを作ってくださいました。許すな！憲法改悪市民連絡会にご連絡を。Tel:03-3221-4668